

事業・研修計画書

福山市今津公民館 井田直子

平成 27 年度生涯学習振興・社会教育関係職員等研修
【施策立案研修】演習シート

1 事業・研修名

社会教育活動事業と今津学区まちづくり推進事業の協働事業
「花咲か塾」～わが町“今津”の魅力再発見！！～

2 対象者と目指したい姿（どのような方を対象として、どのような人材育成を目指すのかを記入する。）

「花咲か塾」は 2012 年からスタートし、年齢・性別・役職にとらわれず、気軽に誰でも自由に思いを語り合える場として“まちづくりサロン”的な役割を担い継続して開催している。楽しい交流を通して情報交換し、まちづくり活動への理解とともに、参加者のみなさんの声や経験・特技を“今津”のまちづくりに生かせるような場としていく。そのような人材の発掘・育成を目指し、“まちづくり応援団”として実践の場も作り、連携を取りながら運営していくことを目指す。

2015 年度は、「わが町“今津”の魅力再発見」をテーマに地域での情報発信を担う人材育成を目指す。今津の魅力を若い世代（子ども達）に伝えたい…郷土の文化・歴史を住民目線で伝えることを目標とする。

3 取組の趣旨・ねらい（地域の現状、人材育成をめぐる地域や職場の現状等を踏まえて記入する。）

今津学区では“まちづくり応援団”が、自主的な参加形態で地域のまちづくり活動を支えている。コーディネーター役を公民館が担い、「花咲か塾」と連携しながら運営している。

住民が主役のまちづくりを考えると、情報発信は重要な役割を担う。住民自らが情報発信の担い手となることで、住民目線の魅力ある情報、細やかな身近な情報を届けられるようになる。「花咲か塾」を通じて、まずは、“今津の魅力再発見”をテーマに、今津の魅力を若い世代（子ども達）に伝えたい…郷土の文化・歴史を住民目線で伝えることを目標とする。

公民館便りで「花咲か塾」の参加者を募集し、新たな切り口で集まってこられる新たな人材の発掘・育成をめざす。

4 取組の概要

- ・2015 年度の主催事業として講座「花咲か塾」として参加者を募集し、スタート。
- ・ワークショップ形式で参加者の意見を出し合い、参加者の思いを共有し、実践に結び付ける。
- ・“今津の魅力再発見”をテーマに情報発信していこう！
- ・今津の魅力とは何か？…歴史・神社・仏閣・場所・樹木・風景・風習・行事などテーマ別に出し合う。
- ・子どもから高齢者まで郷土の文化・歴史をわかりやすく伝える方法として、テーマを絞り一枚のマップにまとめて情報発信する。
- ・まずは、“今津八十八か所を探せ！”にテーマを絞り、マップにすることに決定。
- ・今津八十八か所の場所・写真・風習など情報を集める中でパソコンや写真・歴史に詳しい人材を巻き込む
- ・参加者で考えたマップのウォーキングコースを実際に歩きながら写真を撮ったり、聞き取りもし情報を共有する。
- ・集めた情報をパソコン講座を通してマップ作りに取り組む。
- ・出来上がったマップを活用して、世代間交流事業（健康ウォーキング）として“今津八十八か所を探せ”を実施。
- ・「花咲か塾」での情報発信をきっかけとして、新たな情報収集や取り組みへ期待がふくらむ。
- ・マップ作りの成功体験を通じ、参加者の心が一つになり、次のステップへつながる。

5 実施・評価計画

日程 (回数・月日・時間)	目標	内容	評価項目	備考 (留意点・準備物・連携先)
5月 2回 13:30～ 15:30	ワークショップで意見を出し合い共有し、方向性を決定する	今津の魅力は何か？ 情報発信とは？ ワークショップで意見を出し合う	・出された今津の魅力からテーマを絞り次回の目標を明確にする。	ワークショップ計画作成 ホワイトボード・付箋・マジック
6月26日 9:30～ 12:00	今津の魅力を撮り歩き、お互いに情報交換する。	今津の魅力を写真に撮ってきたものや、撮り歩きしたもので交流。 写真のプロの講評あり	写真の効果的な撮り方など学び、お互いの今津の魅力について再発見する	各自デジカメ・写真データ パソコン プロジェクター 飲み物用意
7月7日 21日 2回	情報を集めてきたものを地図上で確認する (場所・写真・風習)	今津八十八か所にテーマを絞り ① 集めた情報を地図上で印をつける ② 写真・説明	自主的な活動として情報を集めてきたものを、参加者で確認しあう。	ワークショップ(案)作成 資料・ホワイトボード 付箋・マジック 飲み物用意
9月 3回	パソコンの得意な方を巻き込み、パソコン講座としてもマップ作りに取り組む。	パソコンを使って“今津八十八か所巡り”マップ作りに取り組む。 ① マップレイアウト ② 写真挿入 ③ 文章挿入	パソコンを活用した情報処理をお互いに学びあう	各自収集データ持寄り パソコン パソコン学遊会と連携
10月 2回	計画したウォーキングコースを歩き、具体的なウォーキングのイメージを共有しマップを完成させる。	受講生で実際に地図をもとにウォーキングしてみる。かかった時間や気づきを出し合う。 マップを完成させる。	自主性を尊重し各グループで共通の目標をもち、それぞれの得意分野を生かしながら連帯感を深める。	パソコン学遊会と連携
11月 1回目	まちづくり便りで「今津八十八か所を探せ」ウォーキング参加者を募り当日の役割を決める	マップを活用した「今津八十八か所を探せ」ウォーキングを企画・広報、実施当日の役割分担を決める。	自主的に役割分担ができる	まちづくり推進委員会 まちづくり応援団と連携
11月 2回目	世代間交流当日の役割を担う。	今津八十八か所を探せウォーキング実施当日の受付・進行先導・説明係を担う。	多くの住民に今津の魅力を伝えることができ、成功体験をもつことができる	まちづくり推進委員会 まちづくり応援団と連携 マップ・飲み物 配布
12月	今後の情報発信に向けて積極的な意見が出る。	「今津の魅力再発見」講座を終えての感想と今後の情報発信にむけて思いを出し合い交流	今後の情報発信にむけて意欲的な意見が出、来年度への期待をもつ。	

6 評価に係る項目

(計画を実施することによって見込まれることを、できるだけ具体的に記載する。)

参加者の興味・特技・経験を生かし、ワークショップ形式で、参加者同士の思いを気軽に話し合い、今津の魅力を探っていき、住民目線の今津の魅力をわかりやすく発信していくことを目標に、「今津八十八か所を探せ」をテーマに、マップ作りとマップを活用した世代間交流（ウォーキング）実施に定めた。

初めは、自立した地域の情報発信を担う人材の育成を目標としたが、参加者の興味は今津の魅力を地域に残したい伝えたいといった思いが中心になり、郷土の歴史・文化を探りマップ作りの作業が中心となった。マップ作りなど専門的な知識が必要な場合は、パソコン学遊会との連携で取組み、参加者の負担を軽くする。

進めていく中で、次の目標や全体像を参加者で決め、思いを共有し進めることで、参加者同士の連帯感や意欲が育つ。参加者全員の理解と協力で進めるので、無理のない進め方になることが見込まれる。公民館が、まとめ役・進行役として、関わることで参加者の安心感につながっている。

「花咲か塾」では、各自のボランティア精神と地域への貢献を優先し、役職に縛られない集まり“まちづくり応援団”のすそ野を広げていくことを目指す。長期的な取組みの中で、情報発信を担う人材が育ち、まちづくり推進委員会との連携を図りながら、広報誌作りにつなげていくことが今後の取組みとなる。

7 実施組織体制

「花咲か塾」は今津公民館と今津学区まちづくり推進委員会との協働事業という位置づけで実施している。実施組織体制は、「花咲か塾」参加者及び協力者を含めた“まちづくり応援団”とパソコン学遊会（講師含む）と、まちづくり推進委員会との連携も見込まれる。

8 実施スケジュール

平成27年度

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① 今津の魅力 ワークショップ		→										
② 写真。情報集め			→									
③ マップ作り						→						
④ ウォーキングに活用									→			
⑤ 今後の情報発信 ワークショップ										→		

※枠の大きさや矢印は、必要に応じ変更してください。

※単年度にとどまらず、複数年の計画としても構いません。